

新型 **コロナ** に **感染** 疑われる した **子ども** を **見守る** ポイント！

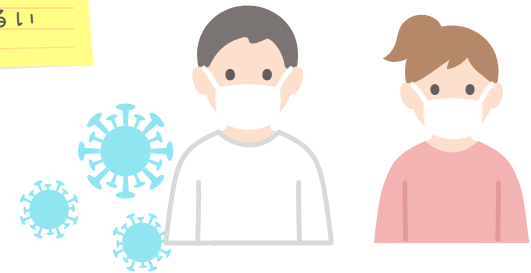
メッセージ

新型コロナウイルスに感染しても、ほとんどのお子さんが**1～2日の発熱**が続いたあとに自然に治ります。ただし、のどの痛みで水分が取れなかったり、下痢が続いたりすることで、**脱水を起こすことがあります**。そこで、自宅で療養するときには、ここで紹介するポイントを参考として、**お子さんを定期的に見守ってください**。

ポイント1：急いで受診すべき状態

- ・呼吸が苦しそう（肩で息をする、ゼイゼイしている、咳で眠れない+水分がとれない）
- ・呼吸が早い（1分間に、乳児：50回以上、幼児：40回以上、学童：30回以上）
- ・水分がとれず、または嘔吐や下痢が頻回で、**半日以上おしっこが出ていない**
- ・元気がなく、**ぐったりしている**。呼びかけへの反応が悪い。
- ・**初めてけいれんした**（手足を突っ張る、がくがくする、眼が上を向いている）
- ・**生後3か月未満の赤ちゃんで38℃以上の発熱**があって、下がらない場合

・発熱
・ゼイゼイ
・だるい



ポイント2：自宅で見守ってよい状態

38℃以上の発熱があっても、水分が取れていて、遊んだりできているのであれば、自宅で様子を見守っていただけます。急いで受診しなければならないわけではありません。なお、高熱だけで脳の障害が起きることはありません。市販の解熱剤を適宜使用しながら、ゆっくりと休ませてあげてください。基礎疾患のあるお子さんについては、かかりつけの先生に電話で相談しましょう。



電話で相談できる窓口

かかりつけ医がいるときは、
まずは電話で相談してください。



市販薬の選び方

改善がないこともあります。
服用後の状態をよく観察しましょう



以上のような点に注意すれば、新型コロナは、家庭で特別な対応をしなければならない病気ではありません。
外出を控えるなど周囲への感染防止に配慮しながら、**発熱したお子さんを家庭で見守ってあげてください。**

沖縄県小児科医会、沖縄救急医療研究会、沖縄県医師会、沖縄県薬剤師会、沖縄県

沖縄県新型コロナウイルス感染症コールセンター

098-866-2129 / 24時間

こども医療でんわ相談 (#8000)

平日 19:00～翌朝8:00

土日 24時間対応
祝日



沖縄県薬剤師会 おくすり相談室（市販薬の選び方）

098-851-4747 / 9:00～17:00（年中無休）

のどが痛い、鼻がつまる時・・・

市販の総合感冒薬を内服します。適度な加湿でも、息が楽になることがあります。

咳が辛い時・・・

市販の咳止め薬を内服します。小さじ一杯のハチミツで咳を鎮める効果が期待できるので、1歳以上であれば試してみてください

熱がある時・・・

発熱していて、きつそうにしているときは、**解熱剤**（アセトアミノフェンなど）を**早めに使用しましょう。**

